

柘原小学校周辺の戦争史跡

戦争の歴史と史跡

垂水は昭和20年8月5日、アメリカ軍による空襲を受け、市内広域が焦土と化しました。柘原においては、現在の錦町に海軍航空隊の軍事基地があり、国道に面して「垂水海軍航空隊之碑」という大きな石碑が目を引きます。



▲柘原小学校にある大砲の弾丸

トのオールで無抵抗の兵士を殴り、命を落とす者や、毎日の訓練やしごきに耐えかね、自ら命を絶った兵士も多数いたといえます。

このほか、柘原上地区の戦争史跡として、柘原小学校の校庭に長さ約30cmの大砲の弾丸が飾ってあります。

次に、柘原小学校よりやや西にある垂水南漁港の海は「ほうかい」と呼ばれています。なぜこの呼び方なのかはつきり分かっていないのです

が、ここには戦時下、魚雷発射場があり、地元民の間でいつの間にか「ほうかい」と呼ぶようになったといえます。漢字を充てるなら「砲海」、或いは海上に築かれた砲台を意味する「海堡(かいほ・かいほう)」の語が転じたのかもしれない。

魚雷発射場は桜島から溶岩を運んで作られたもので、海底から海面まで約3m、全体の高さは大きいもので10mほどありました。演習では何度か魚雷が発射されましたが、実戦では一度も使用されませんでした。

発射場は、浜平の港平沖・俣江沖・葛迫沖・尾迫沖と、柘原の錦町海岸、切目王子神社沖(ほうかい)の6箇所、尾迫沖のものには幅1.5〜2m程の木製の橋が架けられていました。これらは、戦後の昭和25年に鹿児島湾を縦断したルース台風によって大破し、現在では、溶岩石等の基盤部分のみが残されています。

ほうかいの発射場跡は、インターネット上の航空写真からもその影が確認でき、かつては子どもの遊び場であったり、地元の方がイセエビを捕ったりしていたといえます。



▲戦没者慰霊碑と観音像

このような歴史的背景もあって、小学校のすぐ下の護岸道には、海を臨んで「戦没者慰霊碑」が建立され、そのすぐそばに観音像が祀ってあります。この観音像は、かつてあった江口ガラス店の敷地に平成5年に建立されたものです。現在、近所の方が花を供えたり、落ち葉を掃いたりするなど、お世話をされています。

【参考】
『柘原の歴史誌』中島純昭
地元での聞き取り調査

(垂水史談会会員・中谷潤心)

【訂正とお詫び】
5月号26ページ『第36回たるみず歴史・文化散歩』記事にある「手貫神社の信仰と現在」の9〜10行目で、誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。
《誤》新田大明神では、「てりまざる」...
《正》手貫神社では、「てりまざる」...

SECOND SEASON しょっかい 食改 キッチン

Healthmate recipe of this month 食改さんをご紹介



かよ 井川嘉代さん、かずこ 前田和子さん

今月のレシピ ぶりの野菜あんかけ

今月のレシピを調理したのは、
さわか みちこ
小村佐和子さん、立山道子さん



【材料】(4人分)

- ぶり(切り身) / 4切れ (400g程度)
- 人参 / 1本
- 玉ねぎ / 1個
- ピーマン / 2個
- サラダ油 / 大さじ2
- 水 / 100ml
- 砂糖 / 大さじ2
- 酢 / 大さじ2
- A 醤油 / 大さじ2
- 酒 / 大さじ2
- みりん / 大さじ1
- ◎ 水溶き片栗粉
- 片栗粉 / 大さじ1
- 水 / 大さじ2

ぶりに含まれているDHA、EPAは、記憶力・集中力の向上や、生活習慣病予防に最適です。



① ぶりを1口大の大きさに切る。



② ①に分量外の塩を振り、5分程度おく。

③ 余分な水分をキッチンペーパーで取り、Aの調味料に10分間、漬けておく。



④ 人参を長さ4〜5cm、幅5mm程度の細千切りにする。玉ねぎと、ピーマンは薄切りにする。



※漬けていた調味液は⑦で使います!

⑤ フライパンにサラダ油を入れ、③のぶりを火が通るまで両面加熱する。焼けたらお皿に取り出す。



⑥ ⑤の同じフライパンで人参、玉ねぎの順番で炒める。



⑦ その後、⑤で残しておいた調味液、ぶり、ピーマン、分量の水を加える。

⑧ 蓋をして、3分ほど加熱する。



⑨ 最後に固まらないように水溶き片栗粉を回し入れ、軽く混ぜ合わせれば・・・

ぶりの野菜あんかけの完成です!

食改完了

【1人あたり】
エネルギー 388kcal
食塩相当量 1.5g



▲レシピ動画はこちら